

# 前期基本計画検証結果から後期基本計画への完成イメージ～

## ■ 前期基本計画 検証結果

### 第1章 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち

#### 第3節 自然・地域・人から学ぶまちをつくる

##### 【めざす姿】

- 各施設が特色を活かしたまちづくりの拠点となり、まなびのネットワークとしてつながっています。
- まちづくりのリーダーや地域の人材が活躍する循環型の学習環境が整っています。

指標項目	平成 19 年度実績	平成 20 年度実績	平成 21 年度実績	平成 22 年度実績	平成 23 年度目標
市民一人当たりの図書館図書貸出冊数	14.29 冊	13.69 冊	13.79 冊	12.99 冊	14.44 冊
生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	106 回	147 回	166 回	148 回	130 回
地域で子どもを支える活動助成団体数	5 団体	3 団体	4 団体		4 団体 (H21 終了)

##### 現状と取組の成果

- まなびサポーター制度や地域創造会議、まちづくりリーダーなど、地域の中で活動できる制度や活動する人材が増えている。
- 平成 20 年度に「米原市子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の支援・活性化を図っている。
- 座学をはじめとした多彩な講義形式によるルッチ大学（院）を開講し、地域でのまちづくり活動や地域活動のリーダーとして活躍できるよう人材を育成している。

##### 後期基本計画に向けての課題

- 市民のニーズに合わせた市民生活や生涯学習の推進に役立つ情報を把握し、より充実した講座内容としていく必要がある。
- 「米原市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の支援に努める必要がある。
- まなびサポーターの活動の活性化に向け、システムの再構築をはじめ、PR し、学習成果を還元できるよう、仕組みの構築が求められる。

## ■ 後期基本計画 紙面(案)

自然・地域・人から学ぶまちをつくる

### ① 施策の目的（対象・意図）

【対象】

○市民

【ねらい】

○学習の成果を活かし、まちづくり、ひとづくり、地域課題解決を図る。

### ② 目的達成指標（成果・活動指標）

指標値	現状値	目標値
A まナビサポーター登録者数	133人	170人
B 市民意識調査における「生涯学習の推進」の不満足	11.8%	10%

#### ②-2 指標設定の考え方

- A 生涯学習活動を実践することで、自分の持つ知識や経験、技能をまちづくりに活かしたいと「まナビサポーター」に登録する市民が増えることを目標とした。
- B 生涯学習を推進する施策を実施することで、市民の生涯学習に対する満足度を高め、不満を減らすことを目標とした。

### ③ 現状

- まナビサポーター制度や地域創造会議、まちづくりリーダーなど、地域の中で活動できる制度や活動する人材が増えている。
- 平成20年度に「米原市子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の支援・活性化を図っている。
- 座学をはじめとした多彩な講義形式によるルッチ大学（院）を開講し、地域でのまちづくり活動や地域活動のリーダーとして活躍できるよう人材を育成している。

### ④ 踏まえるべき動向（外部要因）

- 平成18年の教育基本法の改正により、生涯学習の理念が追加された。
- 平成20年に社会教育法が改正され、学校教育支援や生涯学習活動の成果を活用することが盛り込まれた。

### ⑤ 課題（重要性、必要性）

- 市民のニーズに合わせた市民生活や生涯学習の推進に役立つ情報を把握し、より充実した講座内容としていく必要がある。
- まナビサポーターの活動の活性化に向け、システムの再構築をはじめ、PRし、学習成果を還元できるよう、仕組みの構築が求められる。

### ⑥ 施策の方針（めざす姿）

- 多様化・高度化する市民の生涯学習ニーズに対応できる機会と場を提供します。
- 地域の中で、さまざまな分野における指導者を確保・育成し、地域全体で子どもを育てる環境を作ります。

### ⑦ 主な取り組みの展開

【行政の役割】

- (1) 生涯学習の充実
- 学習環境の充実を図る。
- (2) 地域における教育力の向上
- 地域力を醸成する。
- 地域で学ぶ環境づくりを行う。

【関係課・室】

- 生涯学習課
- 教育総務課

【市民の役割】

- 生涯学習活動に積極的に参加する。

## ■ 関連する分野別計画

米原市教育振興基本計画